

魚つりの思い出

五か西小三年

まつ本

たか王

ぼくは、お女川ちゃん、弟とばいさとと、
お母ナ、トと、いとこの娘えりちゃんと魚つり
に行きました。とち木け人のくり山村に行き
ました。雪がたくさんある二月の雨季
とけて、ワカオたぐへ、きれいな水がながれ
きます。

はじめて魚つりにいだのは、才の時
じた。はじめて魚つりをする時は、たま
なげるところを教えてでした。でも、土
にまし人には、りさおのなげ方を教えたもう
一回、なげる練習をした後、遠くになげられ
ました。父さんは、たかれい、角は
遠くになげられると、父さんは、たかれい、角は
それまでして、たげてからや。しりゑせてもう一度聞け
よと教えてもらつた道に、してみると、ニシマスガ
れていました。よ父さんは、教
れました。してみると、ニシマスガ

このまでも、何回か魚フリに行きました。

行った時に、一回もはづれようになりませんでした。

家にかづて、一二、ジマスをやいて食べてました。
水川さん、な所で育った魚たのでとてもよかったです。
しかし、たびす。家の近くの川もきました。
まいし、魚がいるといいなも思いました。